

インフラの大更新時代到来への対応や2050年カーボンニュートラルの実現など、我が国の重要課題を踏まえ、他分野連携を強化し、防災・減災施策を推進

- ・河川機械設備のあり方についてパラダイムシフトを図るため、異業種連携でイノベーションを促進
- ・グリーンインフラなどカーボンニュートラルの実現に向けた取組と連携し、気候変動に対する適応策・緩和策双方に貢献
- ・関係省庁や民間事業者との更なる連携促進により、流域治水などの施策を充実し、加速化

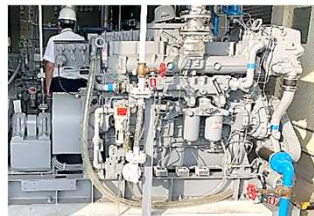
異業種間連携(自動車メーカー×ポンプメーカー)による取組

○低コストで管理しやすい排水ポンプの開発を促進

<令和3年度中に実証試験、令和4年度以降に実装に向け基準整備>

【排水ポンプに用いるエンジンを特注品からマスプロダクツ（量産品）化】

<before>



船用エンジン[特注]

コスト
縮減目標
1/10

<after>



車両用エンジン[量産品]

その他連携強化による防災力向上

○関係省庁と共同で「流域治水推進行動計画」を策定、連携して流域治水の取組を加速化

<令和3年7月頃に行動計画策定・公表>

○早期停電復旧に向け、経済産業省や電力会社と連携、優先啓開道路を設定

<令和2年10月から連携体制構築>



国有地の活用検討
国有地を活用した貯留施設



水田の雨水貯留機能強化



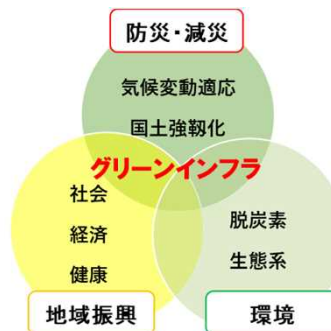
倒木による断線及び道路閉塞

防災減災×カーボンニュートラルの取組

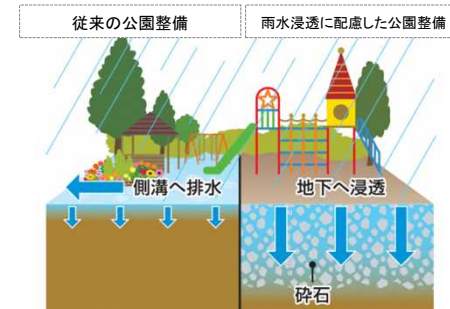
○CO2吸収源対策にも、雨水浸透等にも貢献するグリーンインフラを推進

<令和7年度までに全国主要都市（30都市を想定）の9割で取組実施>

【グリーンインフラとは】



【実装イメージ】



雨水浸透等に配慮した公園整備

○再生可能エネルギー等を港湾などインフラ施設において導入し、災害時のリダンダンシーを確保

<2050年カーボンニュートラル実現に向け可能な限り導入>



港湾における自立型水素等電源の設置イメージ